

2017のACKU

2017は？



活動の3本柱

- 1 新しい山岳会のあり方を探る
(活性化・継続・スムーズな役員交代)
- 2 山岳資料館の設立
- 3 新しい「未知への挑戦」・SACK創設検討

アンケートで会員の意見を聞いた(初年度 メール会員)
2年目 ACKUニュースで全会へ(電話)



アンケート

1. まず各会員入部当時の状況を教えてください
2. 今後の山岳部活動をどう進めると、新しい部員が継続して入部するだろうか？
3. 今後の山岳会の活動をどう進めると、現在より活発な山岳会になるだろうか？ 親睦中心イベント・魅力ある例会山行・各種イベント・現行以外の出版物・新たな探検等
4. 今まで山岳会から遠ざかっていた会員が、また昔の仲間と会って山に行ったり語りあったり、共通の目標をもって行動したりして欲しいと思っていますが、どうしたらいいでしょうか
5. 山岳部時代のルームノート・報告書等、及び山岳会として貴重な資料・地図・蔵書など将来的に寄贈してもよいと思われるものはありますか？
6. 山岳会の分科会として、SAC(学究的山岳会)があるとした場合、研究・発表してみたいテーマはありますか？
7. 他



1. まだ24名

2. 1955年～2012年入学の幅広い層からの回答

M22

以下は思いつくままに。
 ◎無雪期の日本の山は人だらけで、登かに山の自然と対峙することが難しいのではないのでしょうか。雪渓練習と岩登りのできる、秘境はどこかないのでしょうか。そのベースキャンプを設けたことがありますが、登山者も少なくわれわれだけの世界でした。

AGUアンケート(第1回)														
回答順	入手順	会員名	年齢	性別	入学年	入学日	所属	所属	所属	所属	所属	所属	所属	所属
回答順	入手順	会員名	年齢	性別	入学年	入学日	所属	所属	所属	所属	所属	所属	所属	所属
19		植田正樹												
20		坂本純												
21		東野誠治												
22		山形裕士												



1 新しい山岳会のあり方を探る (山岳部の継続)

1. 部員数アップ→幅広い山登りができる部へ
2. 新人の興味(専攻分野を含む)と関連つけて育成するプログラムを考える
3. 若手OBや大学院生が積極的に山行に同行するシステム
4. スポーツクライミングなども視野へ
5. 様々なOBとの交流の場を
6. 今の学生は忙しい上に貧乏→運営資金・物資・移動手段の提供・支援の検討・アルバイトの場提供



今後の山岳会の活動 遠ざかって会員へのアピール

1. 遠征の推進母体 & 現役遭難事故発生時の支援組織
2. もっと親睦中心のイベント
3. 他大学山岳会との交流...会報・部報の交換
4. 各種研究会への出席、会報・研究本の購入・売却・交換
5. 講演・交流会・展示会
6. 例会山行のちょっとバリエーション(家族参加の例会他)
7. SNSの活用、返信がなくとも「ひたすら」発信
8. まず飲み会から
9. クーラカンリ30周年祝賀会2016 ⇒チェールーシャン30周年2018



山岳会図書館

1. 寄贈蔵書を一か所へ→蓑庵文庫
2. 寄贈蔵書のリスト化
3. 過去のACKU活動アーカイブ収集
4. 将来の会員寄贈可能蔵書のリスト化・公開



追いつくのは難しいが目標は北大山岳館のレベル

山岳館では、北大山岳部・山の会が、創立(1926年)以来、そして山岳館創設(1997年)以来、収集・蓄積してきた、山岳・極地・探検などに関する記録・文献・山岳書・地図を資料として整理・保管5027件



収蔵物、蔵書リスト



リスト化

たとえば北大は

Id:新着図書30／和書3409／洋書504／部報・会報254種
 ／和雑誌67種／洋雑誌22種／ビデオ85／地図 ...5027件

まだリスト化は未完了だが

葺庵文庫への提供者

金井健二氏／八田義一氏

予定者:平井先生・井上前会長

遠征準備資料・ビデオ

居谷他

- 項目
- ID
- 書名(号数)
- 著者名
- 発行所(国)
- 発行年
- 配置
- 備考

総合整理No.	提供者整理No.	書名	著者 監修 編集長	訳	発行
1	金井健二1	山岳 多数	日本山岳会		日本山岳会
2	金井健二2	ヒマラヤへの挑戦1(8000m峰登頂記録)	山縣淳男		アテネ書房
3	金井健二3	ヒマラヤへの挑戦2(8000m峰登頂記録)	山縣淳男		アテネ書房
4	金井健二4	ヒマラヤへの挑戦3(8000m峰登頂記録)	山縣淳男		アテネ書房
5	金井健二5	ケルン1(復刻版)	ケルン編輯室編		アテネ書房
6	金井健二6	ケルン2(復刻版)	ケルン編輯室編		アテネ書房
7	金井健二7	ケルン3(復刻版)	ケルン編輯室編		アテネ書房
8	金井健二8	ケルン4(復刻版)	ケルン編輯室編		アテネ書房
9	金井健二9	ケルン5(復刻版)	ケルン編輯室編		アテネ書房
10	金井健二10	ケルン6(復刻版)	ケルン編輯室編		アテネ書房
11	金井健二11	ケルン7(復刻版)	ケルン編輯室編		アテネ書房
12	金井健二12	ケルン8(復刻版)	ケルン編輯室編		アテネ書房
13	金井健二13	ケルン9(復刻版)	ケルン編輯室編		アテネ書房
14	金井健二14	ケルン10(復刻版)	ケルン編輯室編		アテネ書房
15	金井健二15	ペデスツリアン(復刻版)	関西徒歩会編		アテネ書房
16	金井健二16	ケルン解題(復刻版)	ケルン編輯室編		アテネ書房
17	金井健二17	台湾の山と蛮人			
18	金井健二18	山・スキー・みち			
19	金井健二19	やま			
20	金井健二20	探検と冒険			
21	金井健二21	熱き心	平林		
22	金井健二22	カラコルムの夜明け			
23	金井健二23	ヒマラヤ巨峰初登頂記			
24	金井健二24	さまよえる湖			
25	金井健二25	アジアの砂漠を越えて			
26	金井健二26	極地に消えた人々			

表紙の写真プラス

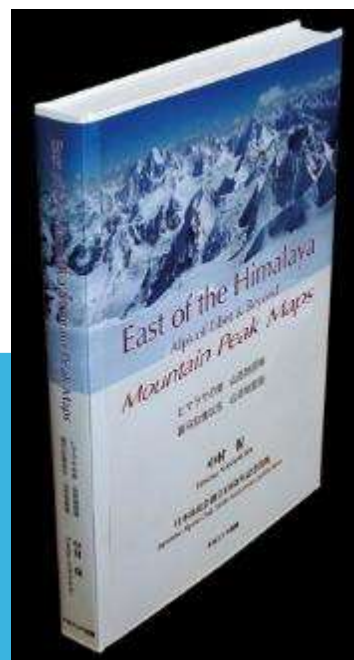
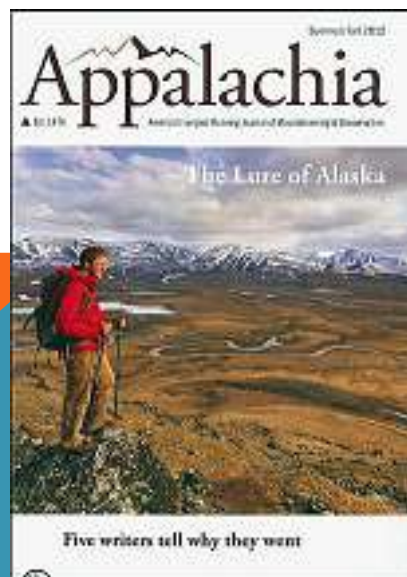
永久的山岳資料館の検討

山岳会の学内山岳資料館設置の可能性検討を継続
大学の100年記念図書館の活用(公式部報会報のみ)
蓑庵文庫(和光氏)の永続的使用の交渉



新しい「未知への挑戦」・SAC創設検討

1. バダリの再挑戦→動機づけ
2. ルオニーをはじめとするカンリガルポ山群の許可申請の継続→若手の動機づけ
3. タラリの再挑戦→許可申請の継続
4. 研究本の発行(検討中)、井上前会長著「カンリガルポ及びニエンチェンタンラ西山群を探る」...山と人21号 好評販売中



例会バリエーションを少し広げる

定例会会の案内

追加例会(決定ではない)の予告(予感)

- ネパールトレッキング
- 中国各省最高峰
- 若手・中堅・シニアOB会社の山荘の活用
- 東西中間地点(北アルプス・上高地などで)の山行
- サマーテントなど
- ACKU公式HomePageの活用
- 個人山行の共有化(facebook)などでの交流
- 「カエッテコイよー」の山岳会

